

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

山形県米沢市 米沢市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	38	対象	透訓	救 臨 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
75,838	23,966	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

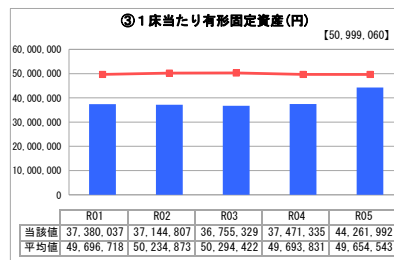
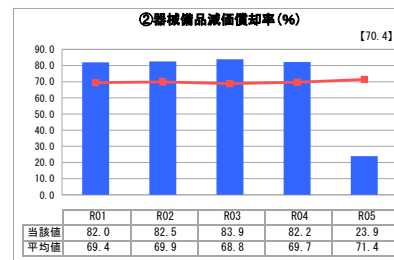
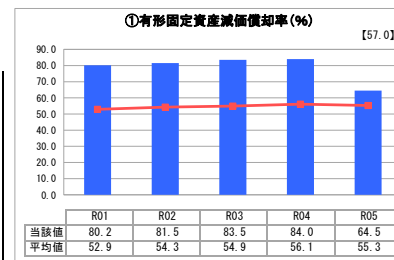
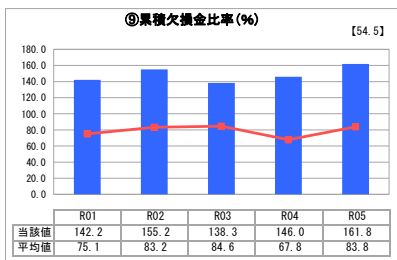
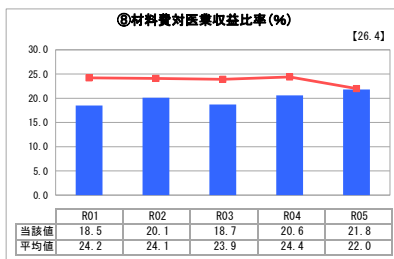
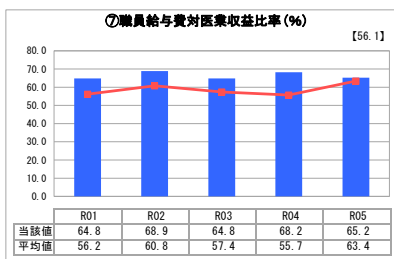
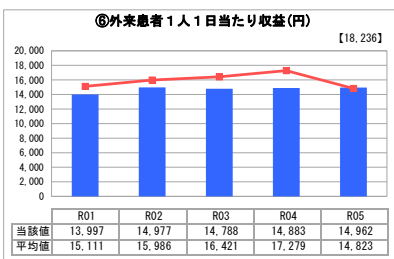
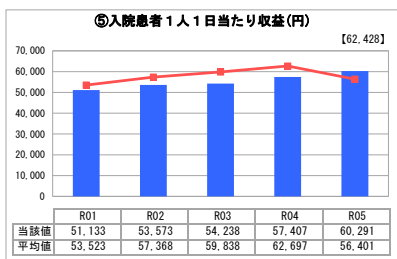
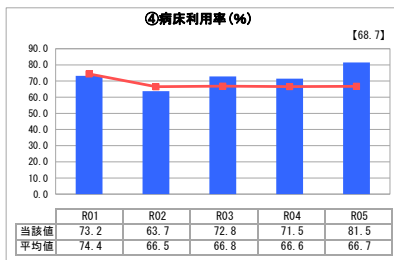
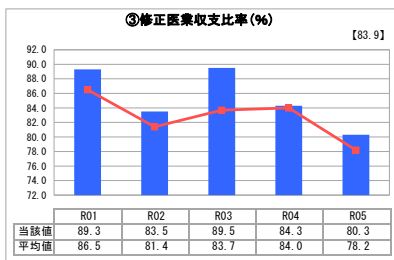
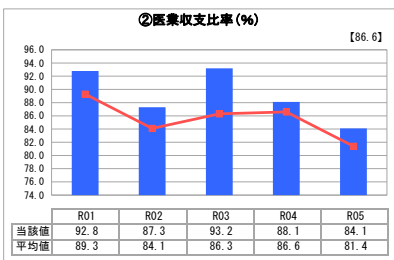
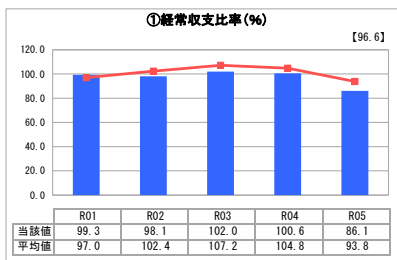
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
263	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	263
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
251	-	251

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・運営強化 (経費の削減・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和5年度	-	-

### I 地域において担っている役割

山形県地域医療構想において、置賜二次保健医療圏については、少子高齢化から急性期病床が過剰となり回復期病床が不足すると見込まれている。米沢市では、地域医療構想の考え方を踏まえて、共に急性期医療を担う米沢市立病院と三友堂病院が機能分化、医療連携を進め、米沢市立病院は急性期医療を、三友堂病院は回復期医療の役割を担っている。

民間医療機関による提供が困難な高度医療、救急、小児、周産期等の不採算部門の医療を提供している。特に救急においては、24時間365日医療提供体制を整え、合わせて平日夜間・休日診療を行っている。

また、臨床研修病院としての教育機関の役割を担っている。

### II 分析編

#### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症関連の補助金の減収、物価高騰による経費の増加、また、新病院建設事業に伴う固定資産除却費・消費税増徴の増加の影響で、令和4年度と比べ、経常収支比率(①)・医療収支比率(②)及び修正医療収支比率(③)が下回った。急性期病床の減収、急性期機能に特化した医療提供を行ったことから、病床利用率(④)・入院患者1人1日当たり収益(⑤)・外来患者1人1日当たり収益(⑥)は前年度より上回った。退職給付費の減少により、職員給与費対医療収益比率(⑦)が前年度より下回った。診療材料費等の経費の高騰に伴い、材料費対医療収益比率(⑧)が前年度より上回った。

累積欠損金比率は(⑨)は前年度を上回り、さらなる経営改善が必要である。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率(⑩)はリース資産の除去及び取得により、前年度を下回った。機器備品減価償却率(⑪)は新病院へ移行する際に医療機器の除却及び取得により、前年度と比較し大幅な新陳代謝となった。

1床当たりの有形固定資産(⑫)は新病院へ移行時の病床数の減床により増加したものの、全国平均より下回っている。

新病院開院により老朽化の状況は改善するものの、新たに建物や医療機器の減価償却が始まることにより、一時的に経営状況が悪化するものと考えられるが、経営強化プランに基づき確実に取組を進めていく必要がある。

### 全体総括

新型コロナウイルス感染症関連の補助金の減収や、近年の物価高騰による経費の増加等々、病院経営を取り巻く状況は良くなり、令和5年度決算においては1,380百万の純損失となった一面もあるが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行や、新病院が開院し救急医療を含めた急性期医療に特化した診療を行っていく等の大きな変化があることから、今後の取組方針次第により経営の方向性が良好になっていくと思われる。

経常収益は前年度と比べ減収しているものの、入院・外来患者1人1日当たり収益は微増ではあるが増加している。患者1人当たりの単価がアップしていることから、連年ペースに比べ収益が改善されていくものと思われる。費用においては、なお一層の削減を図り経営強化を総合的に進め、黒字化に向けて経営努力をすることが必要と思われる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。